

令和8年3月吉日
船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 市川 義文
学校関係者評価委員会事務局

令和7年度 学校自己評価報告書

1 地域との連携・協働による教育

考察等	・HPや学年だより、学校だよりを発行し、学校の情報を保護者、地域へ伝えることで理解を得ている。 ・PTA活動や地域の行事は休日や勤務時間外になることが多く、なかなか協力することができない。
改善策	今後も学校の活動を理解してもらえような情報発信を行っていく。また、PTAや地域の活動には、勤務時間内でできるだけ協力していきたい。

2 「世田谷の教育」で実現する質の高い教育の推進

(1) 学習指導

考察等	「せたがや探究的な学び」を推進し、指導方法の工夫改善を行っている。仲間との対話をすることや自らの意見を発表することによって学びを深める授業を行っている。それを学ぶ楽しさにつなげていきたい。
改善策	各教科で研究を行い、授業改善を図っていく。また、生徒による授業評価を行い生かしていく。

(2) 特別活動・学校行事

考察等	学校行事は生徒主体で取り組ませ、伝統を引き継ぎ発展させていく意識が根付いている。行事を通して成功体験を積むことで、生徒の自己肯定感や自己有用感などを高めることができている。
改善策	保護者や地域の方ができるだけ参観できるよう、学校運営協議会などに協力を求め工夫していく。

(3) キャリア教育

考察等	1年生の職業講話、2年生の職場体験、3年生の上級学校訪問や面接に向けてなど系統的な学習ができている。キャリアパスポートを活用し、振り返りを行い、学びを深めることが課題である。
改善策	生徒が自分の取り組みを振り返ることができるように、キャリアパスポートの活用を推進する。

(4) 特別支援教育

考察等	管理職、SC、特別支援コーディネーター、インクルーシブ教育支援員、学年教員で組織した校内委員会で生徒情報を共有し、支援策を協議している。また、ほっとルームを開設し、教室に入りにくくなっている生徒の居場所づくりを行うことにより、登校できる生徒が増えた。
改善策	すまいるルームや学校生活サポーターと連携し、生徒理解に努め、自立のために必要な支援を行っていく。

3 信頼と誇りのもてる学校づくり

考察等	<ul style="list-style-type: none">・学校関係者評価アンケートや行事や学校公開のアンケートを参考に学校運営の改善を図っている。・HPの学校日記を毎日アップし、教育活動の情報発信を行っている。
改善策	新たな学校運営協議会を核とし、学校運営の改善を図っていく。

4 安全安心と学びを充実する教育環境の整備

考察等	生徒にとって、安心かつ安全で、充実した学習環境が整うように、日々の点検管理を学校主事、事務と連携し行っている。また、設備の異常に関しては早期対応している。
改善策	今後も日常の点検、整備を行っていく。